



キーワード

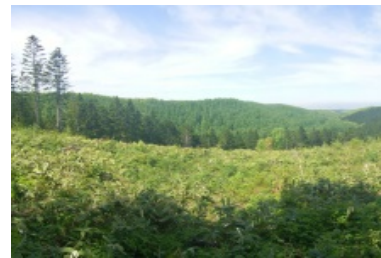
地方創生／官民連携／森林・里山活用／
ブランド化／再生可能エネルギー

フィールド

北海道 ・ **森 里**

実施体制

北海道紋別市等7市町村（紋別市／遠軽町／湧別町／滝上町／興部町／西興部村及び雄武町）／北海道（北海道オホーツク総合振興局西部森林室）／国（林野庁網走西部森林管理署）等



アクションの目的

林業経営環境の打開に向けた地域産材のブランド化、地域経済の活性化

アクションの背景

木材需要の減少・価格低下という厳しい経営環境を打開するため、2003年「紋別市林業・林産業に関する懇談会」で森林認証制度が話題になったことに端を発し、網走西部流域内の市町村と林業・林産業界が一体となり、森林認証（SGEC森林認証）を取得し、地域産材のブランド化、地域経済の活性化に取り組むこととした。2016年6月現在、流域内の認証森林の割合は85％に達し、日本最大の森林認証エリアとなっている。

アクションの内容

【SGEC森林認証の取得を通じて、認証基準に則した森林管理】

SGEC森林認証（生物多様性の保全が認証基準の一つに挙げられている）の取得を通じて、認証基準に則した森林管理を実施している。毎年度、認証機関による管理審査を受けている。

森林の生物多様性を保全すべく、対象森林内に生息する注意すべき野生生物の調査を行っており、対象森林内に多くの注意すべき野生生物が生息しているのを発見している。

多くの人に見てもらい、関わってもらいにより、森林認証を取得していることを常に意識するとともに、さらなるブランド価値向上にむけて、販路拡大、生産コストの低減によりメリットの増大を目指す等、様々な取組を行っている。

アクションのポイント

◎流域内の市町村、道、国及び製材工場・工務店等が一体となり、流域ぐるみで取組が行われている。木質バイオマス発電所への未利用間伐材の販売、J-CREDIT制度による山への資金還元を行う等、今までとは違った視点（自然への配慮）から、新たな森林施業の資金調達も行っている。

アクションの効果

○2008年度には森から海の連環を考えるシンポジウム、2010年度にはSGEC森林認証セミナー、2011年度には**先進林業機械を活用した作業システム現地検討会**を開催するなど、全国規模の大規模なイベントを開催する事により宿泊客、飛行機利用者増加など、観光業への波及効果が出ている。